

研究発表会 報告

開催しました

発表Ⅰ

全国学力・学習状況調査及び香川県学習状況調査結果分析

教科に関する調査と質問紙調査の結果を分析し、特徴をまとめました。そして、目的をもった話し合い活動など、5つのチェックポイントに整理し、提案しました。

5つのチェックポイント
報告書 P8 に掲載

「児童生徒主体の学び」のためのチェックポイント

- 児童生徒の発言や考えを生かして課題を設定している
- 児童生徒が必要な時に目的をもって話し合えるようにしている
- 児童生徒が、課題解決に向けて、ICT機器を使いたいときに使える環境にしている
- 児童生徒が自ら振り返る活動を取り入れている
- 児童生徒が選択したり、自己決定したりする場面を設定している

県学習状況調査報告書

「児童主体の学びのためのチェックポイント」が自分の授業を振り返るのにいいなと思いました。また、計画的に勉強することが学力向上に関わっていると知り、興味深く感じました。

今年度の特徴を知ったうえで、次年度に向けて自校で取り組むべきことを検討していきたいと思いました。冊子をじっくり読ませていただきます。

発表Ⅱ

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の
一体的な充実に向けた調査研究

「子供たち一人一人の学びを最適にすることで、主体的な学びを促進し、『協働的な学び』に生かす。さらに、一人一人の学びに還元する。」このような「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させる授業づくりには何が必要なのかを提案しました。

調べ方やまとめ方、交流相手の選択など、児童一人一人が自分で選択できる部分が沢山あることに気付きました。「協働的な学び」の中に、それぞれの「個別最適な学び」があるという授業を考えていきたいです。また、振り返りベースの授業検討も大変勉強になりました。

そろえる→伸ばすという認識の転換はとても大切だと思いました。教育的意味を理解して「そろえる」場面と、個々の困り感等に応じて当たり前配慮する柔軟な対応の両方が大事だと感じました。

講演

演題 「GIGA3年目の今 これからの授業を考える」

これまでの教育として、大村はま先生を例に挙げながら、「学習者主体」、「揺るがない信念」など教師として時代を問わず必要なことについて、改めて教えていただきました。

そして、教育の今として、GIGA スクール構想によって、学習者用1人1台端末がすでに文房具として使われている現状についてのお話を伺いました。

これからの授業では、学習者が「自律的に学ぶ」こと、社会とのかかわりを自分からもちることが大切であり、そのためには授業の中で、「学習者に委ねる」機会を作ることが重要である。教師は、自分の授業をセルフリフレクションしながら、子供自身が気づき、考えることのできる授業を目指さなければならないなどのお話をいただきました。1人1台端末の持ち帰り、デジタル教科書の普及など、教育環境が大きく変化している今、この時期をチャンスと捉え、さらなる授業改善を目指そうという、意識改革の機会をいただけた講演でした。

講師 佐藤 幸江
放送大学 客員教授

参加者感想

今の自分の授業に危機感を持てた。本当の意味で「誰1人取り残さない」が実現できるよう、個別最適な学びの実践を考えていきたい。

内容がとても分かりやすく、聞き入ってしまった。「不親切な教師」を目指し、教えすぎる教育から脱却したいと思った。次年度の現教の参考になる講演だった。

発表Ⅲ

児童生徒が主体的に ICT を活用して
取り組む学習の充実に向けた調査研究

児童生徒が主体的に ICT 機器を活用できるようになるために、必要な要素を「基盤づくりのための3本柱」と「学び方を変えるICT」の2つの視点で整理し、協力学校の実践を基に「ICT 活用推進モデル」として提案しました。

教育センター5階に
掲示しています

学習内容の理解以外の側面、つまり子どもがパソコンを管理することにも触れていることが重要である。Update も子どもがすべきだと共感した。

ICT の活用を日々考えていた。どう使えば良いのか課題ばかり見えて構えていた。しかし使わなくては分からないことばかりであると感じた。様々な教科、校種での実践を知れて少し教科での活用イメージがもてた。課題は山積みであるが子どもの主体的な学びのため活用方法をどんどん模索していきたい。

発表を聞いて、教師からではなく、児童が主体的に学習の中で ICT の必要性を感じながら活用できるよう ICT が身近なものとなるよう積極的に授業の中で活用していきたいと思った。

研究成果報告書
実現！私の ICT 活用

実現！わたしの ICT 活用

研究成果報告書等ダウンロードできます

研究成果報告書と研究発表会でいただいたご意見の一部を、Web サイトに掲載しています。
令和5年度の報告書等も掲載していますので是非、ご活用ください。

